

(乙の2)

(土地の占用)

- 1 河川の名称
- 2 占用の目的及び態様
- 3 占用の場所
- 4 占用面積
- 5 占用の期間

【記載要領】

○河川の名称

水系名、河川名、左右岸別（左右岸にまたがる場合には記載の必要はありません）を明記してください。

○占用の目的及び態様

運動場、緑地、公園等、と使用する目的を記載し、更にその使用方法の概要を具体的に記載してください。

○占用の場所

「字○○番地先」まで明記してください。なお、占有が左右岸にまたがる場合には、左岸右岸それぞれに分けて記載してください。

○占有面積

占有面積計算書により1平方メートル未満を切捨てて記載してください。

○その他

変更の許可申請の場合：変更しない事項についても記載し、かつ、変更する事項については変更前のものを赤色で併記してください。

許可の同時申請の場合：公園等にするためには、土地の形状を変更する行為を必要とする場合又は附属施設として工作物が設置される場合が多く、前者は法第27条第1項、後者は法第26条第1項の許可が必要となります。
同時申請の場合、（乙の2）に、後述する（乙の5）及び（乙の4）を合わせた形で申請して下さい。

【添付図書】（河川法施行規則第12条）

○事業計画概要書

事業の計画の概要を具体的に記載してください。

○位置図

縮尺は1/50,000とし、申請箇所を○印で表示し、「申請箇所」と赤書きしてください。

○実測平面図

- ・縮尺は1/100～1/2,500の範囲としてください。
- ・申請に係る行為によって影響があると判断される区域まで含めて実測してください。
- ・申請範囲、河川区域、河川保全区域、官民境界を赤線で必ず明示してください。
- ・必要に応じ、横断面図と比較できるように測線（測点）を記入してください。

○実測横断面図

- ・縮尺は状況に応じ、1/100～1/1,000としてください。
- ・平面図同様、申請範囲、河川区域、河川保全区域、官民境界を赤線で必ず明示してください。
- ・申請箇所が堤防に近接している場合は、必ず、堤防を含めた図面を作成してください。

○面積計算書及び丈量図

- ・丈量図の縮尺は1/500～1/1,000としてください。
- ・面積計算は㎡単位とし、小数点以下第2位まで計算してください。
- ・計算は三斜法、座標法、CAD計算などで行ってください。

○土地の権原に関する図書

占用箇所の土地の権利関係を確認するため、下記の書類を地方法務局等から入手してください。

- ・不動産登記法第14条地図またはこれに準ずる図面（公図）の写し
- ・土地登記簿の謄本または抄本（必要に応じて）

○他の行政機関の許認可書の写し

申請に係る行為または事業に関し、他の行政機関の許可・認可などの処分を受けることを必要とする場合、許可書・認可書等の写し又は許認可等を受ける見込みがあることを示す書面（申請書の写しなど）を添付してください。

○現地写真

○前回許可書の写し

更新申請及び変更申請の場合のみ添付してください。